

公益財団法人ちばのWA地域づくり基金

2021 年度 事業報告書

(2021 年 4 月 1 日～2022 年 3 月 31 日)

【2021 年度概要と成果】

- ・2021 年度は新型コロナウイルス収束の目途が立たず前年度から継続的な影響があった年となりました。そのような状況の中でも様々な工夫をし、助成先団体とのコミュニケーションをとりながら資金助成、伴走支援を行うことで、新たに顕在化した課題にも対応しながら、ウィズコロナ、アフターコロナを見据えた事業活動を支援することができました。
- ・休眠預金等活用助成コロナ緊急枠では、すべての助成団体が緊急支援体制、地域連携体制を構築することができ、助成期間終了後の事業継続も可能となりました。
- ・体制面では、新たに助成事業担当として2名の職員を雇用し、主に助成業務の管理、助成先の伴走支援を担っています。
- ・資金調達面では、コミュニティ財団として地域における公益の増進に資する事業の展開と合わせて、事業連携などを模索しました。

【公益目的事業：公益活動支援助成事業】

1. 助成事業

(1) 事業指定助成プログラム

- ・「地域連携型アフターコロナ事業構築」助成事業（休眠預金緊急枠）の事業の継続に向けた寄付募集を行った。
- ・ホームページ内に寄付募集専用ページの設置を行い、寄付を募った。また、助成団体に資金調達に関する研修を実施し助言を行った。
- ・寄付募集期間：2021 年 4 月～2022 年 3 月
- ・寄付総額：566,000 円／助成額：460,000 円

事業名・団体名	目標額	寄付額	件数	助成額
新型コロナにより住居を失った人の支援事業 シェルターの運営と地域への定着（企業組合労協船橋事業団）	3,000,000 円	30,000 円	1 件	30,000 円
リスクの高い若年女性向け中短期シェルター運営事業（NPO 法人ダイバーシティ工房）	1,500,000 円	71,000 円	6 件	71,000 円
人と人、地域の繋がりをつくるキッチンカーで居場所事業（NPO 法人ワーカーズコレクティブういず）	1,000,000 円	354,000 円	12 件	354,000 円
地域でつながる自立支援の輪、みんなの居場所 リバちい事業（NPO 法人子どもの環境を守る会 J ワールド）	810,000 円	111,000 円	11 件	5,000 円

(2) テーマ・地域型基金

ア. 子どもの今と未来を支える基金（継続）

- ・新型コロナウイルス感染拡大に伴い、休校措置や経済活動の停滞等の影響が及んでいる子どもやひとり親家庭、生活困窮家庭などへの緊急支援活動を支えるために「子どもの居場所緊急支援」としてウェブサイト等を活用し寄付を募った。
- ・公益財団法人地域創造基金さなぶり事業指定寄付「『47 コロナ基金』47 都道府県新型コロナウイルス対策地元基金」に参画し、本基金への寄付を受け付けた。
- ・今年度寄付総額（民間助成金含む）：1,700,585 円／助成総額：1,700,000 円
- ・第二次公募助成：

対象事業：①新型コロナウイルス感染防止対策を講じながら支援活動を継続するために必要な活動費

②コロナ禍のニーズの拡大や新たなニーズに対応するために必要とする活動費

助成対象期間：2021 年 9 月 1 日～2022 年 3 月 31 日

申請受付期間：2021 年 7 月 12 日～8 月 6 日

申請件数：6 件

採択件数：4 件

- ・助成先：

団体名・所在地	活動内容	助成金額
認定特定非営利活動法人外国人の子どものための勉強会（松戸市）	対面と同じオンライン学習システム購入	200,000 円
特定非営利活動法人ウィーズ（習志野市）	居場所がないと感じる子どもたちが気軽に寄れる「みちくさハウス」運営事業	500,000 円
特定非営利活動法人ネモ ちば不登校・ひきこもりネットワーク（習志野市）	新型コロナウイルスの影響による不登校の相談事業	500,000 円
企業組合労協船橋事業団（船橋市）	街をぐるぐる～子ども・若者を支援するぐるぐる CAR 事業	500,000 円

イ. まつど子育てささえあい基金（継続）

- ・「まつどでつながるプロジェクト」の活動をもとに、松戸市の親子の孤立を予防、制度の狭間にいる人に対する民間の取り組みを支援するための基金を設置し、リーフレットやウェブサイトを活用し、寄付を募った。
- ・久光製薬株式会社ほっとハート倶楽部様の 2021 年度支援団体先として選定され、活動支援金を受領した。
- ・今年度寄付総額：105,000 円／助成総額：0 円

ウ. 2019 千葉県台風・豪雨災害支援基金（継続）

- ・2019 年台風 15 号、19 号、10 月豪雨による千葉県内の被災地における支援活動を支えるための基金を設置し、継続して寄付を募った。
- ・今年度寄付総額：10,000 円／助成総額：2,100,000 円
- ・第三次公募助成：

対象事業：2019 年台風 15、19 号及び 10 月豪雨災害に対して千葉県内の団体が実施する支援活動、復興活動

助成対象期間：2021 年 7 月 1 日～2022 年 2 月 28 日

申請受付期間：2021 年 5 月 6 日～6 月 4 日

申請件数：5 件

採択件数：5 件

- ・助成先：

団体名・所在地	活動内容	助成金額
ちば里山・バイオマス協議会（市原市）	里山活動による台風被害復旧と備え、関係人口創出とボランティア参加啓発活動	400,000 円

特定非営利活動法人災害ボランティア団体らしんばん（佐倉市）	災害復興支援とその活動スキルの向上、伝達を目的とする事業	200,000 円
特手非営利活動法人たてやま・海辺の鑑定団（館山市）	沖ノ島森の再生「学びのプロジェクト」～沖ノ島森の再生から地域の未来を捉える～	500,000 円
特定非営利活動法人ディープデモクラシー・センター（千葉市）	誰ひとり取り残さない復興のための千葉南部災害支援センター事業	500,000 円
市原米沢の森を考える会（市原市）	米沢の森「花立野広場・山桜と菜の花畑」の災害復興整備	500,000 円

エ. 休眠預金等活用助成事業「新型コロナウイルス対応緊急支援助成」（継続）

- ・本助成事業は、国及び地方公共団体が対応することが困難な社会的課題の解決を図り、民間公益活動の自立した担い手の育成並びに民間公益活動に係る資金を調達することができる環境を整備することを目的とし、「民間公益活動を促進するための休眠預金等に係る資金の活用に関する法律（「休眠預金活用法」）」及び同法施行規則等関連法令の規程にもとづき実施する事業である。
- ・当財団は資金分配団体として、民間公益活動の公募、資金助成と非資金的支援を実施した。
- ・資金分配団体事業期間：2020 年 8 月 3 日～2021 年 11 月 30 日
- ・財源：休眠預金／助成総額（2021 年度分）：16,339,593 円
- ・事業概要：新型コロナウイルス感染症の蔓延防止対策や経済活動の停滞により経済的、精神的、身体的影響を受けたひとり親家庭、子ども、高齢者や、職や住居を失った生活困窮者など社会的孤立リスクの高い層のニーズに対応する支援活動に対し、アフターコロナを見据えた効果的アプローチ＋地域連携により、コロナ禍で深刻化した課題に取り組む。
- ・助成期間（実行団体の事業実施期間）：2020 年 10 月 1 日～2021 年 9 月 30 日
- ・助成先：

団体名・所在地	活動内容	2021 年度 助成金額
NPO 法人ダイバーシティ工房	居場所がない子ども・若者の居場所事業～リスクの高い若年女性向けシェルター運営～	4,230,000 円
NPO 法人子どもの環境を守る会 J ワールド	地域と連携した貧困脱却のための自立支援～見えない壁を打ち壊すために～	1,553,320 円
NPO 法人ワーカーズコレクティブ ういず	キッチンカーで GO！～どこでもこども食堂＆暮らしのサポート～	3,135,588 円
NPO 法人生活困窮・ホームレス自立支援ガンバの会	仕事や住まいを無くした人の地域定着支援～ひとりにさせない伴走型支援～	1,800,000 円
企業組合労協船橋事業団	新型コロナにより住居を失った人の支援事業～シェルの運営と地域への定着～	4,268,685 円
NPO 法人ケアラーネットみちくさ	コロナ禍を乗り越え、共生社会をめざして～住民と専門職とがつくる互助センター～	1,352,000 円

- ・当財団は助成先 6 団体に対し、伴走支援（事業進捗状況の確認、助言、組織基盤強化のための資金調達支援、人材育成支援、関係各所との調整）を実施した。また、指定活用団体である JANPIA との連絡調整や JANPIA 主催の研修に参加した。
- ・実行団体向け研修：
 - ①事後評価研修：2021 年 8 月 6 日、オンライン 実行団体 14 名参加
- ・事業報告会・交流会：2021 年 10 月 26 日、ハイブリッド方式にて開催。40 名（企業、団体、行政）参加。

オ. 休眠預金等活用助成事業「社会的養護下にある若者に対する社会包摂システム構築事業」（継続）

- ・本助成事業は、国及び地方公共団体が対応することが困難な社会的課題の解決を図り、民間公益活動の自立した担い手の育成並びに民間公益活動に係る資金を調達することができる環境を整備することを目的とし、「民間公益活動を促進するための休眠預金等に係る資金の活用に関する法律（「休眠預金活用法」）」及び同法施行規則等関連法令の規程にもとづき実施する事業である。
- ・当財団は資金分配団体として、民間公益活動の公募、資金助成と非資金的支援を実施している。
- ・資金分配団体事業期間：2020年12月22日～2024年3月31日
- ・財源：休眠預金／助成総額（2021年度分）：25,214,446円
- ・事業概要：児童養護施設入所者、退所者等、適切な保護者の関与がなく強制的に自立を迫られる15歳～30歳未満の基盤の弱い若者に対する、退所前の支援（キャリア教育、生活支援等）の質的・量的拡充と、退所後の支援（就労支援、住居支援、人材育成等）の質的・量的拡充を図り、多様な主体（施設、事業者、NPO、学校等）の連携により地域資源（第一次産業、地域産業、空き家、都市と農村等）を活用した安心して居ることのできる居場所の創出、地域とつながる仕事の創出をすることで、地域において退所した後も中長期につながるすることができる社会包摂システムを構築する。
- ・助成期間（実行団体の事業実施期間）：2021年4月～2024年1月31日
- ・助成先：

団体名・所在地	活動内容	2021年度 助成金額
一般社団法人はこぶね	こころをつなぐアフターケア事業～『あなたとともに（友）にいる』オトモダチ作戦～	6,836,896円
ちば子ども若者アフターケアコンソーシアム（構成団体：ちば子ども若者ネットワーク、社会福祉法人チルドレンス・パラダイス、NPO法人長生夷隅地域のくらしを支える会）	ちば子ども若者アフターケアネットワーク	5,667,700円
株式会社ベストサポート	大人のTERAKOYA まなぶ！つどう！つなぐ！～ぼくらはアシタに歩いていく	6,034,000円
一般社団法人いっぽの会	社会へ『いっぽ』を踏み出す基盤づくり事業 セルフマネジメント（正しくSOSを出せる力をつける）	6,675,850円

- ・当財団は助成先4団体に対し、伴走支援（事業進捗状況の確認、助言、組織基盤強化のための資金調達支援、人材育成支援、関係各所との調整）を実施した。また、指定活用団体であるJANPIAとの連絡調整やJANPIA主催の研修に参加した。
- ・研修会・情報共有会：
 - ①事前評価研修：2021年4月10日、TKP千葉駅東口ビジネスセンターにて開催。実行団体14名参加
 - ②キックオフ事業計画共有会：2021年7月8日、ハイブリッド方式にて開催。
 内容「児童養護施設等への入所措置や里親委託等が解除された者の実態把握に関する全国調査」の報告（厚生労働省子ども家庭局家庭福祉課 胡内敦司さん）、千葉県でのアフターケア事業の取り組みと実績紹介（千葉県健康福祉部児童家庭課）
 実行団体14名、行政7名、一般9名参加
 - ③事例共有会：11月24日、ホテルメイプルイン幕張にて開催。
 内容「居場所・若年女性向けシェルター事業の取り組みについて」（NPO法人ダイバーシティ工房）
 実行団体12名参加
 - ④評価表策定研修：2022年2月8日、9日、オンラインにて開催。実行団体12名参加

カ. 千葉県における「子ども第三の居場所」コミュニティモデルの運営支援事業（新規）

- ・本助成事業は、子どもたちが安心して過ごせる環境で、自己肯定感、人や社会と関わる力、生活習慣、学習習慣など、将来の自立に向けて生き抜く力を育む居場所をつくり、そこをハブとして行政、NPO、市民、企業、研究者の方々と協力し、誰一人取り残されない地域子育てコミュニティをつくる事業である。
- ・財源：日本財団「子ども第三の居場所」助成金／助成総額（2021 年度分）：54,955,000 円
- ・事業概要：課題を抱えた児童を含む小中高生や、未就学児の親子など多様な人々が参加・交流できる居場所をつくり、地域の人々との交流を通じて人と関わる力や自己肯定感を育むとともに、課題を抱える子どもの早期発見や見守りを行う。
- ・当財団は日本財団、各自治体と三者協定を締結し、助成先団体に対し、事業進捗状況の確認、助言、関係各所との調整、講演会等を実施した。また、日本財団との連絡調整や日本財団主催の研修に参加した。
- ・助成期間（実行団体の事業実施期間）：2021 年 7 月～2022 年 3 月 31 日
- ・助成先：

団体名・所在地	活動内容	2021 年度 助成金額
一般社団法人かんでんち	木更津市における子ども第三の居場所開設事業	39,940,000 円
NPO 法人 3.11 こども文庫	東金市における子ども第三の居場所開設事業	15,015,000 円

- ・講演会：2022 年 3 月 7 日、ハイブリッド方式にて開催。東金市共催。
内容「誰一人取り残さない地域子育てコミュニティをつくる～子どもの居場所の意義と地域での取り組み～」
（植草学園短期大学こども未来学科 准教授田村光子さん） 45 名参加

（3）冠基金プログラム

ア. さくら基金（継続）

- ・児童養護施設から社会に巣立つ子どもたちが不安を抱えることなく、自立した生活を送ることができるように、支援団体が実施するキャリア支援事業やアフターケア事業などに活用される基金であり、今年度は寄付募集を行った。
- ・休眠預金等活用助成事業において、社会的養護下にある若者の自立支援事業を行うため、本基金への寄付拡充を行う。
- ・今年度寄付総額：58,000 円／助成総額：0 円

2. 資源仲介事業

公益活動を支援したい個人、企業、団体等からの資金以外の各種資源（人材、物品、情報など）を市民公益活動団体に仲介する事業であり、今年度は以下の事業を行なった。

（1）多様な寄付の機会の提供（今年度収入：270,964 円）

- ・寄付付き自動販売機（支援ベンダー）：新規設置なし（現在 7 台設置）
- ・買取寄付プログラム「カイトリ」：実績なし
- ・使用済みインクカートリッジ回収ボックス設置：8 ケ所

これらの寄付金は公益目的事業運営として一般寄付金に充当した。

- ・募金箱の設置：1 ケ所

- ・寄付付き商品：認定 NPO 法人リヴォルヴ学校教育研究所（茨城県）発行の英単語カレンダー、ひらがなれんしゅうちょう等を生活クラブ生協の組合員向けに販売しました。
- これらの寄付金は「子どもの今と未来を支える基金」への寄付に充当した。

（２）情報共有の場づくり

ア．助成事業成果報告会

- ・今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により実施しなかった。

３．助成業務等支援事業

（１）「千葉日報子どもの育ち応援基金」資金助成に関する業務委託（受託事業）

- ・公益財団法人千葉日報福祉事業団では、子どもの育ちを応援する団体の活動を支援するため、2018 年度、3 年間の期限付きで本基金を設立した。資金助成に関する業務について当財団が受託した。
- ・公募助成については 2020 年度で終了しているため、今年度は報告会の開催と 2020 年度助成団体 6 団体へのフォローアップを行った。
- ・報告会：6 月 12 日、千葉市生涯学習センターにて開催。13 団体 22 名参加

（２）47 都道府県『新型コロナウイルス対策』地元基金（47 コロナ基金）医療支援（受託事業）

- ・新型コロナウイルス感染拡大状況下、社会・経済的な影響を受けている個人を支援するため、並びに医療機関等の従事者の方々を支援するために、2020 年 6 月（公財）地域創造基金さなぶりが本基金を創設し、助成実施に関しては全国各地のコミュニティ財団や NPO 支援センター、地域づくりセンターなどと連携して、NPO、企業、医療者等の支援を地域のニーズに応じて設計した。
- ・本プログラムは寄付者の希望により、コロナ罹患者の治療に従事、或いはコロナ禍の影響を強く受けている医療現場への支援を実施するものである。
- ・当財団は地域事務局として、事前調査、支援先選定、6 医療機関への助成を実施した。
- ・財源：47 コロナ基金寄付金千葉県分 720 万円／助成総額：6,500,000 円
- ・事業概要：新型コロナウイルス罹患者の治療に従事、或いはコロナ禍の影響を強く受けている医療現場を対象に、治療に用いる資機材、院内感染予防にかかる資機材の購入、医師や看護師の負担軽減を目的とした宿泊、保育等の費用、治療・院内感染予防・負担軽減等の研修にかかる費用、その他治療や感染予防にかかる必要な取り組みにかかる費用に助成を実施する。
- ・助成先：

医療機関名・所在地	使途	助成金額
公益社団法人地域医療振興協会 東京ベイ・浦安市川医療センター（浦安市）	・ N95 マスク購入 ・ 人工呼吸器 1 台レンタル費用	1,500,000 円
医療法人社団徳風会 高根病院（山武郡芝山町）	・ ガウン、ゴーグル、足カバー、キャップ、マスク購入	1,500,000 円
東邦大学医療センター佐倉病院（佐倉市）	・ ノンパウンダープラスチック手袋購入	1,500,000 円
医療法人鉄蕉会亀田総合病院（鴨川市）	・ 消毒アルコールタオル（ショードックスーパー）購入	700,000 円
東京女子医科大学八千代医療センター（八千代市）	・ 防護マスク、感染防止用手袋、アイソレーションガウン購入	650,000 円

聖隷佐倉市民病院（佐倉市）	・専用病棟の整備品（消毒盤台、白衣）、発熱外来の整備品（車椅子）、感染管理室準備品（机椅子）、電話交換機など	650,000 円
---------------	--	-----------

4. 他機関等との連携

（１）一般社団法人全国コミュニティ財団協会

- ・全国コミュニティ財団協会は、コミュニティ財団の健全な発展を通じて、市民社会のより一層の成熟と市民が主体的に取り組む地域社会の課題解決を促し持続可能性を高め、公共の利益を増進することを目的として設立をしたコミュニティ財団の全国組織である。
- ・当財団は、加盟団体であり、当財団の専務理事・事務局長が協会の理事（非常勤）を務めている。
- ・今年度は、以下の事業に参画した。

（１）理事会、社員総会、会員意見交換会への参加

（２）全国レガシーギフト協会と共催による「遺贈寄付ウィーク 2021『遺贈寄付を広めよう』」シンポジウムを開催し、関東甲信越ブロックの活動・事例紹介を行った。

（２）一般社団法人全国レガシーギフト協会

- ・遺贈寄付、資産寄付への関心が高まりつつある昨今、遺贈寄付が本人の望む最適な形で実現し、寄付した財産が地域の未来資産となり世代を超えて継承される社会を実現するために、全国的な仕組みとして全国レガシーギフト協会が2016年11月に設立された。当財団は加盟団体として今年度以下の事業に参画した。
- ・遺贈寄付に関する相談窓口を設置し、対応。今年度の相談実績なし。
- ・「遺贈寄付ウィーク 2021『遺贈寄付を広めよう』」シンポジウムにおいて、当財団の活動・事例紹介を行った。

（３）ちばソーシャルビジネス支援ネットワーク

- ・本ネットワークは、地域社会の課題をビジネスの手法で解決するソーシャルビジネス事業者を支援するため、主に千葉県内の金融機関5機関と中間支援組織により2017年1月に発足した組織である。
- ・ソーシャルビジネス支援ネットワーク会議：1回開催
- ・ソーシャルビジネス相談会：1回開催

（４）その他

ア. 啓発事業・講師派遣 （60,000 円）

- ・（一財）世田谷コミュニティ財団「世田谷災害復興支援基金」設立オンラインセミナーに登壇し、事例発表を行った。
- ・（一社）全国コミュニティ財団協会「POの道具箱Ⅰ」に登壇し、事例発表を行った。
- ・食でつながるフェスタ実行委員会主催「食でつながるフェスタ in ちば 2022」に登壇し、事例報告を行った。

イ. 他機関との連携協働

- ・千葉県内の支援組織、自治体との情報共有を図ることを目的に、千葉県市民活動支援組織ネットワーク会議（千葉県主催）に加盟し、ネットワーク会議に参加した。
- ・印西市市民活動推進委員会に委員として事務局長が就任し、委員会への出席、企画提案型協働事業の審査にあたった。

- ・子ども食堂やフードバンクなど食を通じた支援にかかわっている団体が直面する課題を共有し、実施団体や中間支援組織、自治体や企業が相互に連携することを目的に、食でつながるフェスタ実行委員会に参画し、実行委員会に出席、フェスタ当日運営を行った。

ウ. その他

- ・助成申請案件以外にも NPO 等からの相談対応を随時行った。

5. 財団運営活動

(1) 情報発信・啓発活動

- ・ホームページ、ブログ、SNS による情報発信を随時行った。
- ・外部からのヒアリングに随時対応した。
- ・IT 導入補助金を活用し、次年度ホームページリニューアルに向けた作業を行った。

【メディア掲載】

- ・なし

(2) 資金調達活動

- ・理事を中心に新規個人や法人に対しての寄付依頼、既存寄付者への依頼、ウェブサイトを活用して呼びかけを行った。
- ・多様な資金を助成事業に活用するために、休眠預金やその他の助成金申請を検討、実施した。

(3) 当財団への寄付 (1,079,400 円)

- ・継続的に財団運営を応援してもらう仕組みとしてのサポーター登録の呼びかけを実施している。
現在サポーターは 15 名、寄付額は 295,000 円となった。
- ・その他に、当財団事業運営への寄付として 784,400 円の寄付を受領した。

【法人運営（管理）事業】

1. 機関会議の運営

(1) 評議員会の開催

- ・第 1 回評議員会（2021 年 6 月 8 日 19 時～20 時 30 分 オンライン）
第 1 号議案 2020 年度事業報告及び附属明細書の承認
第 2 号議案 2020 年度計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及び附属明細書並びに財産目録の承認
報告事項 2021 年度事業計画及び予算について
- ・第 1 回臨時評議員会（2021 年 7 月 8 日 みなし会議）
第 1 号議案 2020 年度決算書修正承認の件

(2) 理事会の開催

定例理事会は 4 回、臨時理事会を 3 回開催した。

- ・第 1 回理事会（2021 年 5 月 19 日 19 時～21 時 オンライン）
第 1 号議案 2020 年度事業報告及び附属明細書の承認

第2号議案 2020年度計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及び附属明細書並びに財産目録の承認（監査報告）

第3号議案 評議員会の招集日時・内容

第4号議案 常勤役員報酬月額承認

報告事項 助成事業進捗報告、助成業務等支援事業進捗報告、他機関連携進捗報告、会計報告

・第1回臨時理事会（2021年7月2日19時～19時55分 オンライン）

第1号議案 「2019千葉県台風・豪雨災害支援基金第三次助成」助成先団体の決定

第2号議案 2020年度決算書修正の件

第3号議案 第1回臨時評議員会決議の省略による件

協議事項 休眠預金通常枠内定団体の契約状況と今後の方針について

・第2回臨時理事会（2021年8月19日19時30分～19時55分 オンライン）

第1号議案 「47コロナ基金：医療支援」助成先団体について

・第3回臨時理事会（2021年8月27日19時30分～20時10分 オンライン）

第1号議案 「子どもの今と未来を支える基金」新型コロナウイルス対応緊急支援助成第二次助成先団体承認

・第2回理事会（2021年9月17日19時～20時40分 オンライン）

第1号議案 ホームページについて

第2号議案 日本財団「子ども第三の居場所」2022年度申請について

報告事項 助成事業進捗報告、助成業務等支援事業進捗報告、他機関連携進捗報告、会計報告

・第3回理事会（2021年12月13日19時～21時 オンライン）

第1号議案 2019千葉県台風・豪雨災害支援基金第四次募集について

第2号議案 2022年度事業計画について

報告事項 助成事業進捗報告、助成業務等支援事業進捗報告、他機関連携進捗報告、会計報告

・第4回理事会（2022年3月15日19時～20時45分 オンライン）

第1号議案 2022年度事業計画及び収支予算書等について

第2号議案 顧問税理士契約について

報告事項 業務執行理事の職務執行状況の報告、助成事業進捗報告、会計報告

（3）監査の実施

- ・監事が全7回の理事会にいずれも出席し、業務監査を実施した。
- ・2021年5月10日に2020年度の監査を実施し、監査報告書を作成した。また第1回理事会、定時評議員会に出席し、監査報告を行った。

（4）コンプライアンス委員会の開催

コンプライアンス規程に基づき委員会を設置し、開催した。

- ・第1回（2021年9月22日15時～16時 オンライン）

出席者：泉貴嗣理事（コンプライアンス担当理事）、金山卓晴弁護士、志村事務局長

議題：契約状況について、労務関係について、規程運用について、会計関連について

- ・第2回（2022年3月8日15時～15時40分 オンライン）

出席者：泉貴嗣理事（コンプライアンス担当理事）、金山卓晴弁護士、志村事務局長、元吉総務担当

議題：法人運営状況についての報告、内部通報運用状況について

2. 役員に関する事項

（1）評議員

今期中の就任、退任はなし

（2）理事

今期中の就任、退任はなし

（3）監事

今期中の就任、退任はなし

3. 事務局体制

（1）組織体制

期首は3名在籍、事業拡充に合わせて9月より助成事務担当として1名、2月より助成事業担当として1名を雇用した。また、1月より1名が産休・育休を取得している。

期末時点で、事務局職員5名が（常勤2名、パートタイム2名、事務局長含む、産休・育休1名）が在籍している。

（2）各事業の人員配置

助成事業・資金調達事業担当・受託事業：3名

経理・総務・事業経理：1名

法人管理運営：1名（兼務）

（3）職員研修とスキルアップ

- ・新入職員研修を実施した。
- ・助成事業担当業務の理解を深めるためのプログラムオフィサー研修（内部）に職員2名が1回参加した。
- ・一般財団法人日本民間公益活動連携機構（JANPIA）によるプログラムオフィサー研修に職員3名が計1回（2日間）参加した。

4. 寄付者等の情報管理（Donor Relationship Management）

個人情報保護方針等に従い、寄付者等財団支援者の情報管理を徹底するとともに、DM等で寄付者への事業・成果報告、コミュニケーションを円滑に行えるよう、Salesforce社のシステムを利用、データベースの適切な管理と活用を行っている。

Salesforce 利用にあたっては、Salesforce 社や（公財）京都地域創造基金のサポートを受け、効率運用できるよう取り組んでいる。

※Salesforce：CRM クラウドサービスを提供する業界トップのグローバル企業。NPO 法人等への無償提供プログラム など CSR にも積極的に取り組む。<http://www.salesforce.com/jp/>

添付資料：

- ・ 2021 年度 ちばのWA地域づくり基金助成等選考委員会選考会開催状況
- ・ 業務執行理事の職務執行状況報告
- ・ 間接的な寄付についての報告

2021 年度 ちばのWA地域づくり基金助成等選考委員会 選考会開催状況

■2019 千葉県台風・豪雨災害支援基金第三次助成

助 成 対 象：公益的・社会的な活動を行う非営利団体かつ千葉県内に事務所を有しているもしくは千葉県内で活動している団体

募 集 方 法：公募

選 考 方 法：申請書類及び団体情報開示内容をもとに、選考委員 3 名による審査を行った。

助成等選考委員会：

- ・日時：2021 年 6 月 23 日
- ・会場：オンライン
- ・選考委員（五十音順・敬称略）：飯田 耕一、岩永 牧人、戸谷 久子

選 考 基 準：

- (1) 公益性 事業の目的、ターゲット、本基金の助成趣旨や条件に合致しているか
- (2) 必要性 被災地のニーズを反映したものか、把握しているか
- (3) 実現可能性 事業実施が確実に見込まれるか、実施体制が整っているか
- (4) 事業効果 助成事業の実施が被災地支援や復興に効果的か
- (5) 資金管理 助成金が適正に活用されるか、金額が妥当か

選 考 結 果：5 事業採択

選考結果の公表：当財団ホームページ上での公開

■47 コロナ基金：医療支援

助 成 対 象：千葉県内の新型コロナウイルス罹患者等の対応を行う医療機関等

募 集 方 法：非公募

選 考 方 法：コロナ罹患者への医療行為を行う医療機関について事前調査を実施、条件に合致する 6 医療機関より申請書を受け付け理事会による協議選定を行った。

選定理事会：

- ・日時：2021 年 8 月 19 日
- ・会場：オンライン

支援対象先選定の経過：

- ・コロナ罹患者への医療行為を行っている医療従事者への負担軽減という趣旨に基づき調査実施。
- ・発熱外来、PCR 検査実施病院は対象としない。仮に新型コロナウイルスにかかる陽性が判明した時点で保健所経由、在宅療養、ホテル療養、入院治療のいずれかに振り分けられ、診療行為（陽性が陰性を確認する）はしていても、コロナ罹患者への医療行為（経過観察、投薬、病状管理等）はしていないのではない場合が多いため。
- ・コロナ罹患者むけに、自宅・ホテル療養等において訪問診療をしているケース等は「コロナ罹患者への医療行為」に該当すると考えられるが、該当する医療機関を探すことはできなかった。

- ・日本病院会会員名簿の中から、感染者の多い地域より個別に問い合わせ、支援金申請の意向をヒアリングした。
- ・10 医療機関のうち以下の 6 医療機関が条件に合致したため、支援先団体として推薦する。

選 定 結 果：6 医療機関

選考結果の公表：非公表

■「子どもの今と未来を支える基金新型コロナ対策緊急支援助成プログラム（第二次）」

助 成 対 象：公益的・社会的な活動を行う非営利団体かつ千葉県内に事務所を有しているもしくは千葉県内で活動している団体

募 集 方 法：公募

選 考 方 法：申請書類及び団体情報開示内容をもとに、選考委員 3 名による審査を行った。

助成等選考委員会：

- ・日時：2021 年 8 月 21 日
- ・会場：オンライン
- ・選考委員（五十音順・敬称略）：上原 一紀、櫛引 宣子、清水 洋行

選 考 基 準：

- (1) 本基金の助成趣旨や条件に合致しているか
- (2) 公益性 広く社会一般の利益に寄与するか
- (3) 必要性 事業の有効性、対象者のニーズに沿い優先的に実施すべきものか
- (4) 実現可能性 活動実施が確実に見込まれるか、体制が整っているか
- (5) 団体の適格性 活動実績、経済状況

選 考 結 果：4 事業採択

選考結果の公表：当財団ホームページ上での公開

以上

業務執行理事の職務執行状況報告

■理事長

- ・千葉日報福祉事業団「子どもの育ち応援基金」報告会出席
- ・全国コミュニティ財団協会総会・シンポジウム出席
- ・休眠預金活用助成通常枠キックオフ事業計画共有会出席
- ・休眠預金活用助成コロナ緊急枠報告会出席
- ・休眠預金活用助成事業「ちば子ども・若者アフターケアネットワーク」オンラインシンポジウム参加
- ・食でつながるフェスタ in ちば出席
- ・千葉県における「子ども第三の居場所」コミュニティモデルの運営支援事業講演会出席
- ・理事会、評議員会出席
- ・2020 年度監査出席
- ・各助成事業説明会及び審査会出席
- ・事務局打合せ、理事ミーティング出席

■副理事長

- ・理事会出席
- ・周知活動として、毎月アーティストとともに配信、募金活動実施

■専務理事

- ・事業報告書作成提出、法人管理業務
- ・理事会準備、運営、理事ミーティング準備、運営
- ・コンプライアンス委員会開催
- ・職員採用活動、研修企画実施
- ・法人会計、労務管理
- ・補助金、助成金申請
- ・各助成事業進捗確認、報告書まとめ等

■理事長（決裁）

- ・2021 年 6 月 4 日 災害支援基金助成選考委員委嘱の件
- ・2021 年 6 月 4 日 休眠預金等活用助成事業資金提供契約締結の件
- ・2021 年 6 月 24 日 47 コロナ基金助成申請の件
- ・2021 年 7 月 5 日 災害支援基金第三次助成先団体覚書締結の件
- ・2021 年 7 月 6 日 日本財団「子ども第三の居場所」コミュニティモデル運営事業助成契約締結の件
- ・2021 年 7 月 28 日 子ども基金助成選考委員委嘱の件
- ・2021 年 8 月 1 日 木更津市・東金市における「子ども第三の居場所」コミュニティモデル助成事業契約締結の件
- ・2021 年 8 月 30 日 子どもの今と未来を支える基金助成先団体覚書締結の件
- ・2021 年 9 月 1 日 税理士顧問契約締結の件

- ・2021年9月1日 パート職員雇用契約
- ・2021年10月6日 休眠預金活用助成コロナ緊急枠監査業務委託の件
- ・2021年11月1日 日本財団、木更津市、東金市協定締結の件
- ・2022年1月24日 ホームページリニューアル制作発注の件
- ・2022年2月1日 契約職員雇用契約
- ・2022年3月1日 プログラムオフィサー育成業務委託契約締結の件

以上

間接的な寄付についての報告

■寄付付き自動販売機（支援ベンダー）設置場所

- ・株式会社エスプールプラス わーくはびねす農園（船橋市）2 台
- ・有限会社飯田産業（千葉市）1 台
- ・株式会社ソーケン製作所（市川市）1 台
- ・ホテルメイプルイン幕張（千葉市）1 台
- ・のぞみのマルシェ（袖ケ浦市）1 台
- ・NPO 法人みらい工房（茂原市）1 台

■使用済みインクカートリッジ回収ボックス設置場所

- ・生活クラブ虹の街
- ・コープみらい
- ・NPO 法人子ども劇場千葉県センター
- ・認定 NPO 法人ちば市民活動・市民事業サポートクラブ
- ・多世代交流拠点おおなみなみ
- ・あすみが丘ガーデンコート自治会
- ・大和ハウス工業株式会社千葉中央支社
- ・四街道市みんなで地域づくりセンター

■募金箱

- ・ホテルメイプルイン幕張

以上